

令和2年度 事業計画

公益財団法人 日本オリンピック委員会

全ての人々にスポーツへの参加を促し、健全な精神と肉体を持つ人間を育て、オリンピック・ムーブメントを力強く推進するとともに、人類が共に栄え、文化を高め、世界平和の火を永遠に灯し続けることを目指す日本オリンピック委員会（JOC）の理想、使命を果たすべく、JOC将来構想に基づき、選手強化、アスリート支援、オリンピック・ムーブメント推進、国際連携、自律と自立の5つの活動を、以下の公益目的事業及び収益事業等として実施する。

特に今年度においては、令和3（2021）年に東京で開催される第32回オリンピック競技大会を見据えた国際競技力向上事業、スイス・ルツェルンで開催される第30回ユニバーシアード冬季競技大会への日本代表選手団派遣を中心に諸事業を展開する。

また、会館管理運営事業及び日本オリンピックミュージアム運営事業も推進していく。

公益目的事業

1. 選手強化、強化スタッフの育成及びこれらの支援

<選手強化事業>

強化合宿事業

オリンピック実施競技団体等のオリンピック強化指定選手・ナショナルチーム等を中心とした国内・海外の強化合宿を実施する。

コーチ力強化事業

ナショナルコーチ、専任コーチ、メディカルスタッフ、情報科学スタッフ等を設置し、選手強化事業を効果的に推進するとともに、海外優秀コーチの招聘やコーチの海外派遣及びコーチ・強化スタッフ会議を開催し、情報交換と相互連携を図る。

スポーツ国際交流事業

国際競技大会に選手及び強化スタッフ等を派遣するとともに、トップレベルの外国選手・チームを招待し、競技交流を通して選手強化を図る。また、オリンピック競技大会を始めとした国際総合競技大会に対応するための情報収集と安全な活動拠点の確保を検討する。併せて国際競技大会における我が国のプレゼンスを高め日本代表選手の競技環境を向上出来るよう日本人の国際審判員等の養成を図る。

将来性を有する選手の発掘及び育成事業

ナショナルトレーニングセンターを活用して人間力を備えたトップアスリートの育成を目指すエリートアカデミーを実施するとともに、JOCジュニアオリンピックカップ大会の優秀者をオリンピック有望選手に認定し研修会を実施する。また各地域で実施されているタレント発掘・育成事業を支援し、有望な競技者を中央競技団体へ繋げる。

I F 役員ポスト獲得支援事業

国際競技連盟（I F）等の政策決定過程に参画できるポストの獲得等を支援することにより、国際スポーツ界における我が国の影響力を強化し、情報収集・発信能力の向上を図る。

スポーツ教室・大会、スポーツ指導者の養成・活用

選手やスタッフのキャリアに関する目標設定の支援や国際的な折衝等において活躍できる人材を育成するためのセミナー等を実施する。また指導者としての能力・資質・技能の向上を目的に設置されたナショナルコーチアカデミーにおいて各種プログラムを提供することにより、世界で通用する指導者を育成する。併せ、スポーツの場におけるアスリートを取り巻く環境の整備を推進する。

スポーツ情報提供事業

国際競技力向上に関わる方針、戦略、戦術、施策等の情報をスポーツ関係者に提供することにより各競技団体の選手育成強化戦略を支援する。

アンチドーピング活動推進事業

オリンピック強化指定選手及び日本代表候補選手に対して、普及・啓発活動を実施する。

スポーツ指導者海外研修事業

指導的な役割を担う若手指導者を海外に派遣し、その専門とする競技水準の向上に関する具体的な方法等について研修させるとともに、海外の選手強化対策、指導者養成の実態等について調査・研究に当たらせ、将来わが国のスポーツ界を担う指導者として育成することにより、国際競技力向上とスポーツの底辺拡大に繋げる。

女性スポーツ推進事業

女性の「する」「みる」「ささえる」スポーツへの参加を促進するための環境を整備することにより、スポーツを通じた女性の社会参画・活躍を促進するため、スポーツ団体における女性役員の育成支援を行う。

スポーツ国際人材育成プログラム開発事業

国内競技団体（NF）の役員及び役員候補者の中から今後のスポーツ国際展開を担っていく人材を育成するためのプログラムを開発する。

ナショナルトレーニングセンター管理運営事業

選手強化の中核拠点としての役割を担い、強化合宿等の充実を図るため、競技間連携の推進、栄養管理等の支援を実施する。

オリンピック競技大会安全対策事業

オリンピック競技大会に参加する日本代表選手団をサポートするため、様々な方向からの情報を収集するとともに、活動拠点の確保等にも努める。

国際審判員養成プログラム事業

優秀かつ公正な判定が出来る国際審判員を派遣していけるよう、その育成に努める。

強化対策事業

アスリートプログラムに基づく健康診断、体力測定等を実施するとともに、JOCインテグリティ教育事業の展開を中心に、オリンピック強化指定選手並びに指導者の資質、インテグリティ(誠実さ、真摯さ、高潔さ)を高め、自らの価値、オリンピックの価値を守る知識と手段、正しい倫理観や道徳心を有するアスリート、指導者の育成に努める。また、選手強化事業を効率的に推進するための事業を企画・展開する。

競技団体交付金事業

選手強化のための寄付金等の財源をもとに、各競技の強化を財政面から支援する。

2.

オリンピック・ムーブメントの推進

<オリンピックデー記念事業、スポーツ教室・大会開催事業>

参加者がオリンピックと交流する「オリンピック・ムーブメント事業（ハローオリンピズム）」として、ジョギングを中心とした「オリンピックデーラン」、中学生にオリンピズムを伝える「オリンピック教室」、オリンピックがあらためてオリンピズムを学ぶ機会とする「オリンピック研修会」を開催する。また、スポーツと音楽を融合させた「オリンピックコンサート」も実施する。

<スポーツ情報の提供事業>

オリンピック大会、アジア大会、ユニバーシアード大会をはじめとするスポーツに関する各種情報を、ホームページ(<https://www.joc.or.jp/>)、機関誌「オリンピック」、カレンダー等の広報ツールに加え、各種セミナー、イベント等を通じ、広く提供する。

<スポーツ環境保全活動事業>

IOCが取組んでいるスポーツを通じた環境保全活動にもとづき、日本のスポーツ界における環境保全の啓発活動及び競技会を含めた各競技特性に適應する環境保全活動を推進する。

<事業広報活動事業>

オリンピック・ムーブメントを推進するための事業・広報活動の企画立案や、効果的な報道のあり方についてのジャーナリストセミナー等を実施する。

